



文化的な結びつき

ビーバーは現地の先住民（シクシカ、ビーカニ、カイナイを含むブラックフット族、サステイナ族、ベアーズポウ、シニキ、ウェスリーを含むストーニーナコダ族、メティスなど）にとって文化的かつ精神的にとっても大切な役割を担っています。

多くの先住民族は、すべての生き物は自然界においてそれぞれ重要な役割や意味があり、その命は人間と平等と考えています。ブラックフット族の言い伝えでは、ビーバーはコミュニティを築くために個人の才能を活かすことの重要性や知恵、生命力を意味しています。

サステイナ族はビーバーの民としても知られるほどビーバーは重要な意義を持ち、ビーバーバンドルの儀式を今でも継承しています。ストーニーナコダ族はビーバーを食べたり、ビーバーから薬や太鼓を作ったりしますが、神聖な動物として敬意を表し一切捨てることなくすべての部位を使います。メティスにおいては、平等、生産性、協調性の象徴です。また、ビーバーやビーバーロッジはタバコや薬、季節の起源を記す物語や多くの創世神話

の中に重要な役割を持って登場します。

先住民の長老、アーティスト、住民一人一人に、ビーバーの重要性についての見識を共有してくださったことに感謝いたします。

やってみよう！

地元の先住民族の言葉でビーバーと言ってみましょう。

- ブラックフット：キシュクスターキー
- サステイナ：ミーチーディゴオディ
- ナコダ：チャバ
- ミチーフ：カスター
- 和名：海狸（かいり・うみだぬき）

訳：上池久美子

画像提供：マディソン・テイルフェザーズ

